

一般社団法人岡山県産業資源循環協会 第3次労働災害防止計画

～上半期計画（令和5年度～令和7年度）～

産業廃棄物処理業における労働災害は、他の業種に比べ発生頻度が高く、危険度も高いことから、公益社団法人全国産業資源循環連合会（以下「連合会」という。）では、平成29年度から労働災害防止計画を策定し防止対策に取り組んできており、このたび令和5年度からの5年間の期間とする「産業廃棄物処理業における第3次労働災害防止計画」を策定し、令和9年に死傷災害996人、死亡災害16人を下回ることを目標に掲げた。

この目標達成に向け、当協会では、岡山県内の労働災害の発生状況、安全衛生活動のアンケート調査等を踏まえ、「一般社団法人岡山県産業資源循環協会 第3次労働災害防止計画」を作成し、その上半期（令和5年度～令和7年度）において実施すべき事項を定め、会員企業が一体となり労働災害防止対策を推進し、会員企業の安全衛生水準の底上げを図っていくものとする。

なお、本計画の下半期（令和8年度～令和9年度）については、上半期の事業点検を行った上で作成するものとする。

1. 計画目標

(1) 目標年次 令和9年12月

(2) 目標数値

- ・死亡者数をゼロにする。
- ・休業4日以上の死傷者数を平成24年から平成26年の実績平均に比して20%以上減少させる。（22人 → 17人以下）

(参考) 岡山県内の産業廃棄物処理業に係る災害発生状況

区分	平成24～26年 実績平均(基準)	令和元年実績 (第1次計画)	令和4年実績 (第2次計画)	令和9年目標 (第3次計画)
死亡者数	0人	0人	1人	0人
休業4日以上の 死傷者数	22人	30人	25人	17人

厚生労働省岡山労働局資料より抜粋

2. 上半期における重点実施事項

- (1) 全ての会員企業において、経営者トップによる所信表明を行う。
- (2) 安全衛生規程を作成している会員企業数を増加させる。
- (3) 当業界において発生数の多い労働災害（墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒）の件数を減少させる。
- (4) ヒヤリハット事例調査を実施し、調査結果を会員にフィードバックする。

3. 上半期における活動目標

活動目標	令和4年度 (実績)	令和7年度 (中間目標)
(1) 全ての会員企業において、経営者トップによる所信表明を行う。	—	424社
(2) 安全衛生規程を作成している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	40社	48社
(3) 墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒の労働災害件数を減少させる。	—	—
(4) 安全衛生活動アンケート調査の回答数を令和4年度に比して20%以上増加する。	130社	156社
(5) 協会の安全衛生事業を認知している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	130社	156社
(6) 連合会の安全衛生情報を認知している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	76社	92社
(7) 安全衛生管理体制を構築している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	99社	119社
(8) 協会の安全衛生研修会の参加人数を令和4年度に比して20%以上増加する。	29社	35社
(9) 安全衛生パトロールを実施している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	76社	92社
(10) ヒヤリハット活動を実施している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	72社	87社
(11) リスクアセスメントを実施している会員を令和4年度に比して20%以上増加する。	49社	59社

3. 上半期における活動目標を達成するための取組事項

(1) 経営者の意識改革を図る取組

- ・会長が労働安全を高めることへの強い意識を宣言し、事業主に対して安全衛生に係る活動の強化を呼びかける。
- ・事業主に対して、連合会作成の「産業廃棄物処理業におけるモデル安全衛生規程及び解説」及び「安全衛生チェックリスト」を周知する。
- ・安全衛生大会を開催し安全衛生意識の高揚を図るとともに優良事業場を表彰する。

(2) 会員企業における安全衛生規程の整備を図る取組

- ・先進的な会員企業の安全衛生規程の事例を収集し、会員に情報提供する。
- ・研修会、会報誌、ホームページ等を通じ、安全衛生規程の必要性を周知する。
- ・連合会作成の「安全衛生規程作成支援ツール」を周知する。

(3) 墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒の労働災害を減少させる取組

- ・関係監督官庁（労働局、労働基準監督署等）と連携し、地域の労働災害の現状や特徴等を整理し、ホームページ等で情報提供する。
- ・連合会が提供する労働災害情報をホームページ等で情報提供する。
- ・作業計画時等におけるリスクアセスメントの実施を呼びかける。
- ・ホームページに厚生労働省の関連サイトのリンクを張る。

厚生労働省 兵庫労働局「STOP! 墜落・転落災害根絶キャンペーン」

https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/newpage_00002.html

厚生労働省 栃木労働局「STOP! はさまれ・巻き込まれ災害」

<https://jsite.mhlw.go.jp/tochigi-roudoukyoku/content/contents/001016462.pdf>

厚生労働省「STOP! 転倒災害プロジェクト」

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>

(4) ヒヤリハット事例調査の取組

- ・ヒヤリハット事例調査を実施し、会員企業におけるヒヤリハット活動の推進を図るとともに、調査結果を会員にフィードバックし労働災害の未然防止に資する。

(5) その他の取組

- ・安全衛生活動アンケート調査の回答数増加に努める。
- ・協会が実施する安全衛生事業を周知する。
- ・安全衛生ポスターを作成し配布する。
- ・連合会作成の安全衛生啓発パンフレット等を活用する。
- ・連合会安全衛生サイトを紹介する。
<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/safety>
- ・労働安全衛生法に規定されている安全衛生管理体制を周知する。
- ・関係監督官庁や安全衛生アドバイザーに講師を依頼する等、安全衛生研修会の内容の充実化を図る。
- ・会員企業における安全衛生パトロールによる改善事例等の情報を収集し、会員に情報提供する。
- ・厚生労働省・中央労働災害防止協会作成の「産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントマニュアル」、厚生労働省の職場のあんぜんサイト「リスクアセスメントの実施支援システム」を周知する。
https://anzeninfo.mhlw.go.jp/risk/risk_index.html
- ・会員企業におけるリスクアセスメントによる改善事例等の情報を収集し、会員に情報提供する。